

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 年 月 日

事業所名: がまごおり・ふれあいの場 保護者等数(児童数)66 回収数 49 割合 74.2%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	45	3	0	0	1	2、3才の時はスペース的によいが、4才になると狭く感じた	活動により部屋を分けたり、プレイガーデンを使ったりする機会を必要に応じて増やしていきます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	48	1	0	0	0	先生が多く、よく見ていただけて安心しています	法令で必要とされる人員配置基準をみたした職員数を配置しております
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	32	13	0	4	0	車いすの子が通うには入口の階段はキツイのかなあと思った	事業所が2階にあり、エレベーター等の設置もないためご不便をおかけしております。体が不自由なお子さんやきょうだい児をお連れの方には職員が付き添うなど配慮することを心がけております
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	49	0	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	48	0	0	1	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	42	0	0	7	0	「家族支援」「地域支援」が受けられる環境を作っていたが、急病の際にショートステイを受けることができた	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	46	2	0	1	0	計画の評価の回数が少ない。3~4ヶ月毎に評価し見直しがされるといい	定期的な評価が3~4ヶ月毎に行えるよう計画的な面談計画をたて実施していきます
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	40	3	0	6	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29	8	2	10	0	交流保育があつて保育園の子ども仲良くなりました	蒲郡市の交流保育の対象年齢(年少児以上)でないお子さんに対しては、園庭開放をお知らせするなど情報提供に努めます
保護者	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	49	0	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	46	0	0	2	1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	35	6	0	8	0	ペアレントトレーニングに参加して、我が子の特性の向き方を学ぶことが出来て勉強になりました	ペアレントトレーニングが未実施のグループや、参加出来なかった保護者の方もいます。多くの方が参加できるように研修の機会を検討します
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	47	2	0	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	48	1	0	0	0	*15番以降に無回答が6名いるのは、裏面に気づかず提出されたため。	アンケート用紙に「裏面に気づきます」の文を付け加えます

への説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	9	2	8	6	父母の会などの組織はありませんが、定期的な保護者相談会(しゃべろまい)や、就学に向けた座談会でOB母の話を聞く機会などをひきつづき行っていきます	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	40	2	0	1	6	緊急時は迅速に対応していただいたが、職員が忙しいので、相談しにくい、困りごとを伝えるにいいことがあった	相談しやすい体制が整えられるよう、定期的な相談の機会を設けると共に、相談事がある時に相談しやすい仕組み(相談申込書など)をつくります
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	42	1	0	0	6		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	30	7	0	6	6		事業所評価については今年度より開始します。活動や行事予定についてはグループにより頻度は違いますが定期的に通信などでお知らせしています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	40	3	0	0	6		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	30	5	2	6	6		避難先や避難経路などを記載したものを室内に掲示します。緊急時対応マニュアルを作成し、保護者の方にもわかりやすいように室内に置きます
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	4	0	8	6		年に4回程度、避難訓練を実施しております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	40	1	0	2	6		
	23	事業所の支援に満足しているか	43	0	0	0	6		

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。